

報道機関各位

「箕輪町社会福祉総合センター（ボランティアセンター・ふれあいセンター）」耐震診断結果について

安全安心な町民生活を確保するため、昭和 56 年以前に建築された社会福祉総合センターの耐震診断を実施しました。診断結果は下記のとおりです。

名 称 箕輪町社会福祉総合センター（ボランティアセンター・ふれあいセンター）

建 築 年 昭和 48 年（平成 19 年一部改修） 46 年経過

構造階層及び床面積（延べ床面積） 鉄骨造 2 階 736.12 m²

診断結果 I s 値： 2 階 0.109 1 階 0.426

- ・ 梁接合部耐力で靱性も耐力も小さく耐震基準に満たない。
- ・ 壁にアスベスト含有を確認。

今後について

- ・ ボランティア登録団体代表者に、診断結果をお知らせするとともに、施設内に注意事項を掲示する。
- ・ 当面の間、施設利用は継続。施設の耐震補強工事、全面解体等を含め検討を行う。

添付資料 有 無

育てる男が、家族を変える。社会が動く。



箕輪町は、
イクボス・温かボス
イクメンを応援します！

福祉課 社会福祉係
(課長) 北條 治美 (担当) 林 直美
電 話：0265-79-3111 (内線) 127
F A X：0265-79-0230
E - mail：fukushi@town.minowa.lg.jp

【参考資料】

・ I s 値

I s 値とは構造耐震指標のことをいい、建物の強度、靱性（変形能力、粘り強さ）、形状やバランス、経年劣化を考慮し算出される。値が大きいほど耐震性が高い。

（参考）

「建築物の耐震改修の促進に関する法律（耐震改修促進法）」の告示により、震度6強程度の規模の地震に対する I s 値の評価については以下の様に定められています。

I s 値が0.6以上	⇒ 倒壊、又は崩壊する危険性が低い
I s 値が0.3以上0.6未満	⇒ 倒壊、又は崩壊する危険性がある
I s 値が0.3未満	⇒ 倒壊、又は崩壊する危険性が高い

町社会福祉総合センターご利用時の注意事項

日頃は、社会福祉総合センター（ボランティアセンター・ふれあいセンター）をご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、町では安全安心な町民生活を確保するため、昭和56年以前の旧耐震基準で建築された社会福祉総合センターの耐震診断調査を実施しました。

その結果、建築から40年以上が経過しており、耐震安全性の目標値を下回っていることが、確認されました。

当面の間、利用は継続しますが、町ではこの耐震診断結果に基づき、今後、建物の耐震補強工事、取壊し等について検討を行う予定です。

そのため、施設のご利用にあたっては、このことを十分にご理解のうえ、地震等の緊急時には、すぐに身の安全を確保できるように、皆さんで使用される前に次のことを必ず確認し、緊急時には身の安全を確保できる体制をとれる状態でのご利用をお願いします。

- ・ 非常口の位置を確認しておく
- ・ 出口を一カ所確保しておく など

問い合わせ先

箕輪町役場 福祉課

電話 0265-79-3111（代）